

OVEP 教師用指導案「アクティビティシート 22 オリンピック競技大会を通じた持続可能な開発」関連  
「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」の意味

- 対象： 中学生
- 本時のねらい： リサイクルによるメダルの製作について知り、リサイクルの重要性を理解する。
- 準備物： インターネットに接続できるタブレットまたはPC、ワークシート
- 適用可能な学習時間： 総合的な学習の時間、道徳 等

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
導入 (5分)	1) 本時の見通しを持つ 【発問】東京 2020 大会のメダルは、携帯電話やPC など使用済み小型家電で作られることを知っていますか？	東京 2020 大会では、メダルはリサイクルによって作られること、本時はそれについて学ぶことを理解させる。	
展開 (10分)	2) オリンピックのメダルのデザインについて知る (オリンピック夏季大会のおもて面は、アテネのパナシナイコスタジアムに立つ勝利の女神ニーケが描かれていて、これはアテネ 2004 大会から決められていることを学ぶ。 裏面は競技名と大会エンブレムがデザインされる。)	オリンピックメダルは、2003 年に現在のオリンピック夏季大会のおもて面のデザインが改定され、アテネの競技場に降り立つニーケの像という今日のデザインになったことを伝える。	東京 2020 公式ウェブサイト「オリンピック・パラリンピックメダルの豆知識」について
(15分)	3) 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」の概要を知る。 携帯電話から金属の精製過程について動画を通して理解する。 他にアイロンやカメラなどいろいろな小型家電も利用できることを知る。	「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」についてその内容を説明する。	東京 2020 公式ウェブサイト「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」および同ウェブサイトの「プロジェクト参加方法について」のリンク先動画
(10分)	4) 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」についてどう思うか、話し合おう。	隣の人とまたはグループで話し合い、時間があれば発表させる。	
まとめ (5分)	リサイクルすることの大切さを確認するとともに、不要になった携帯電話や小型家電をリサイクルに出そう。	これらを回収している身近な場所（市区町村の役場や郵便局など）に言及する。	